

パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の停戦等の 実現に関する決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において多くの民間人の尊い命が奪われ、著しい人道危機が続いている。

ガザ地区北部から始まったイスラエル軍の地上作戦は、ガザ地区全域で展開され、本年2月には最南部のラファに達した。ラファには行き場を失った100万人以上の避難民が押し寄せており、ラファでの地上作戦によって、民間人の被害が一層拡大することが懸念されている。また、避難民の隣接国への大量流入により、紛争が周辺国にも拡大することも危惧されている。

よって、堺市議会は、イスラエルとハマスの双方をはじめとする全ての当事者及び国際社会に対し、一刻も早い事態の解決に向けて、次の事項を実現するよう強く求めるものである。

記

1. 人道目的の停戦及び人質の即時・無条件の解放
2. 国際人道法を含む国際法の遵守
3. 民間人の被害の最小化、人道支援物資の供給を通じた人道危機の改善

以上、決議する。

令和6年3月27日

堺市議会